



男と女のいきいきコラム



男女共同参画社会の実現を目指して VOL.81

市に寄せられた「土岐市の男女共同参画について」の意見をお届けします。

男女共同参画社会推進について

林 美枝子さん

男女雇用機会均等法が改正され、続いて男女共同参画基本法が制定されたのは、私が退職する少し前でした。職業が男女の別なく自由に選べるようになり、看護婦は看護師に、保母は保育士に資格の名前が変わり、女性ばかりだった職場で男性も働きやすくなりました（…それでも男性保育士はまだ少ないようです）。現在は、女性も意欲があれば男性と等しく管理職になれ、男性と同等の仕事を選ぶことができる時代になったのです。

私たちが過ごしてきた時代は、フルタイムで働いていても、家事・育児は女性の役目でした。しかし、男女平等という考えが進むにつれ、家事・育児に参画する男性が少しずつ増えてきたように思います。

でも、そんな中、社会ではいろいろな問題を多く抱えているように感じます。働きたくても仕事がない人、学校を卒業しても思うように就職できない学生。また、何らかの理由で

家に引きこもる若者も多くなっているようです。

子どもの生活でも、児童虐待の報道を耳にすることが多くなったほか、一人親家庭も多くなっています。

食生活では、出来合いの物や冷凍食品など便利な物がたくさんあるほか、外食のお店も多くなり、手作りの家庭料理の味が少なくなってしまうのではないのでしょうか。また、1日の始まりである朝食は大切なエネルギー源なので、しっかりと食べて活力を付けることが、大人も子どもも健康の基本だと思います。

40年余り保育園に勤め、子どもの姿、子育ての様子、保護者とのかわり方など、時代とともに随分変わったことを実感してきました。その中でも、園や学校の行事に父親の参加が増えたことはうれしいことです。心身ともに健康を保ち、男性も女性もお互いを思いやりながら、男女共同参画社会の中で幸せに暮らせることを願います。



しょうぼう119



住宅火災から大切な生命を守るために、住宅用火災警報器を設置してください

消防本部・☎530123

岐阜県ドクターヘリが運航開始

今年2月から、岐阜県ドクターヘリの運航が開始されました。

ドクターヘリは、救急医療機器を搭載した専用のヘリコプターで、医師・看護師が搭乗して救急現場に向かい、現場から医療機関に搬送するまで、患者に対して医療行為を行うことができます。医師による早期治療により、救命率の向上や後遺症の軽減を図ることが期待されます。

出動要請は、消防機関が患者の程度や事故の状況を判断して行い、ヘリコプターが配備されている岐阜大学医学部附属病院から土岐市までの到着時間は、およそ15分です。

利用した場合に必要な費用は、医師の往診料と医療行為に対する医療費が必要ですが、ドクターヘリの運行費用の負担はありません。

■離着陸場所は次の通りです。

▷市内の小・中学校 ▷核融合科学研究所グラウンド、総合公園（下石町）
▷濃南グラウンド（鶴里町）▷曾木グラウンド（曾木町）▷駄知公園（駄知町）▷浅野緑地公園（肥田町）▷活動センター、聖十字病院駐車場（泉町）※このほかでも、状況により可能な場所で離着陸します。

市消防本部では、患者の状況によりドクターヘリの利用を判断しますので、皆さんのご理解をお願いします。



▲ドクターヘリによる医療連携訓練の様子